

創政会



川井田 清香 議員

市立伊丹病院と統合再編後の新病院における感染症対応策

問 ①現段階での市立伊丹病院における新型コロナウイルス感染症の受診体制は。②新病院におけるさらなる感染症への対応能力を求め「特定感染症指定医療機関病院」の指定について

見解を伺う。

答 ①感染の疑いがある患者は、陰圧装置などの機器や医師・看護師の防護服・マスクなどが備えられた隔離外来診察室で診察し、一般の外来患者と動線が交錯しないよう専用入り口を設けている。また、救急外来で感染が疑われ

る患者は、救急外来内にある陰圧診察室で診察を行う。②救急外来で受け入れた感染症患者に対し、手術室や病室などにおいても適切な感染管理が行えるよう十分な検討を行い、整備を進めていく。また、パンデミック対策として、診療継続計画の策定や医薬品・診療材料の確保も行っていく。なお、感染症指定医療機関の指定は、総合的な診療機能を有する病院のうち、開設者の同意を得て、指定されるため、兵庫県感染症予防計画を踏まえ、県や二次医療圏域における調整会議などを通じ適切に対応していく。

民間保育所の誘致計画と公立幼稚園等の跡地活用

問 定員拡大による、年間を通した待機児童対策と民間保育所の誘致計画、公立幼稚園等の跡地活用の見解について伺う。

る。年度途中の待機児童の解消は、新規入所申込者が増加傾向にあり、年度当初から弾力的な受け入れが必要であることや地域偏在もあるため、現時点で解消の時期の明確化は困難である。今後も、保育需要の動向を注視し、定員拡大を図っていく。また、子ども・子育て支援事業計画(案)では、令和2年度からの5年間で520人の定員増を計画しているが、保育需要の推移などに注視しながら、保育需要の見込まれる地域に必要

な定員数を確保するため、民間保育所を誘致していく。なお、公立幼稚園などの跡地は、誘致条件に適している場合には活用を検討する。



答 年間を通しての待機児童対策は、国の有利な財源を活用し、積極的に民間保育所等の誘致を進めてい

日本共産党伊丹市議会議員団



上原 秀樹 議員

市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編

～回復期病床をどうするのか～

問 2040年の患者数ピーク時には、回復期病床が2017年対比でも約1,000床不足する。市が責任をもつ

て病院を誘致すべきと求めてきたが、どのように考えているのか伺う。

答 高度急性期・回復期病床の確保は、重要な課題と認識している。しかし、統合再編後の新病院において全ての医療ニーズに対応することは困難であ

り、「地域完結型の医療」の構築が重要と考え、回復期病床の確保には民間の医療機関の誘致などに努めることとした。新病院は民間の医療機関で担うことができない高度急性期・急性期や不採算部門の医療などを提供する役割を果たす一方で、民間病院には回復期や、かかりつけ医としての役割を担っていただく必要がある。

民間との連携を強化しながら、必要とされる病床機能の確保に向けて調整を進めていく。

市営住宅整備計画(案)

～なぜ、目標管理戸数は1,700戸なのか～

問 市が推計した「将来の著しい困窮年取未満」の世帯数は6,447世帯、その他の住宅などの供給戸数が約4,800戸で、差し引いた1,700戸を必要戸数としている。①「将来の著しい困窮年取未満」の収入基準は。②また、1,700戸では足りないのではないか。

答 ①国土交通省は、著しい困窮年取未満の世帯を「自力で適切な家賃負担で最低居住面積水準を達成することが著しく困難な年収以下の世帯」と定義し、本市の場合、年収は単身世帯で約161万円、2人世帯で約199万円となる。②10年後の目標管理戸数は、国土交通省の「ストック推計プログラム」を用いて設定している。県営住宅に入居される方や福祉施設などの利用が見込まれる方などを除いた世帯数を設定した。今後は、社会経済情勢の変化に的確に対

応するため、エレベーター設置の検討や単身高齢者向けの住宅ストックの拡大を図るための改造工事などを実施し、併せて民間賃貸住宅を活用することにより、住宅確保要配慮者の需要に適切に対応できる管理戸数を確保する。



伊丹市営住宅等整備計画

個人質問

代表質問のほか、12人の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問の項目のみを紹介します。代表質問同様、詳細については、ホームページでご覧いただけます。

新政会

花田康次郎 議員

- 学校図書館の活用
○新型コロナウイルス対応

土井 秀勝 議員

- Smart Itami
○地域活動拠点整備事業
○みやのまえ文化の郷再整備事業

佐竹 璃保 議員

- エンディングノートから、未来を照らす終活
○足腰の強いまちづくりを。災害対策強化
○ブランディング広報戦略

フォーラム伊丹

高橋 有子 議員

- 4月からの公立幼稚園・認定こども園
○気候変動における市の緑化
○食物アレルギーの学校給食対応

保田 憲司 議員

- 新型コロナウイルス感染症に対する対応

創政会

鈴木久美子 議員

- 小学校・中学校で発生するゴミ
○地域自治組織・活動推進事業
○都市計画道路山田伊丹線

公明党

永松 敏彦 議員

- ごみ減量化に向けての取組
○市営住宅整備計画(案)

里見 孝枝 議員

- 産後ケア事業、産前・産後サポート事業
○フレイル予防

竹村 和人 議員

- スマート自治体
○東京2020大会パブリックビューイング及び伊丹版マスターズイベント

北原 速男 議員

- 新病院建設に伴う「松風園」及び「桃寿園」等の移転
○多文化共生社会
○来庁市民の駐車場確保

日本共産党伊丹市議会議員団

久村真知子 議員

- 「お悔みコーナー」設置
○市営住宅の経年劣化にともなう修理

会派に属さない議員

齊藤 真治 議員

- 健康政策
○総合交通計画
○中心市街地駐車場の未納金